

別 紙

第62回 静岡県公衆衛生研究会 優秀演題ホームページ掲載要旨

分 科 会 名	第 2 分科会	演題番号	203
題 名	富士市の妊婦個別歯科健康診査の現状から受診率向上の検討		
所 属	1 富士市こども家庭課、2 静岡社会健康医学大学院大学		
氏 名	○若杉 千誉 ¹ ・牧野 歩美 ¹ ・古澤 佳奈 ¹ ・矢崎 紗香 ¹ 田原 康玄 ² ・溝田 友里 ² ・佐々木 八十子 ²		
要 旨 (簡 潔 に)	<p>富士市では令和 6 年度から、従来の集団妊婦歯科健康診査を個別歯科健康診査へと変更した。これに伴い、妊婦の口腔内の現状把握および未受診者の背景要因を明らかにすることを目的に分析を実施した。</p> <p>□ 対象は、母子手帳交付時アンケート回答者（1,113 人）と妊婦歯科健康診査受診者（368 人）とし、受診状況および診査結果を集計した。その結果、妊婦の約半数に口腔内の自覚症状が見られ、成人女性と比較して歯周病は約 2 倍、むし歯は約 1.35 倍と高い傾向を示し、市内妊婦においても口腔健康課題が存在することが明らかとなった。</p> <p>□ 未受診との関連要因としては、計画外妊娠、2回目以降の妊娠、若年、未入籍、外国籍、支援者不在などの社会的背景、さらに飲酒、喫煙の影響が認められた。これらを踏まえ、富士市では未受診者への支援策の検討を進めており、その概要について報告する。</p>		